

平成26年5月1日

県内養豚農家各位

岐阜県知事 古田 肇

豚流行性下痢（PED）の発生予防、まん延防止対策の徹底
について

日頃は、岐阜県行政とりわけ畜産振興につきまして御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

豚流行性下痢（PED）につきましては、昨年10月に国内で7年ぶりに発生して以来全国に拡大し、県内でも4月以降、恵那市、山県市、高山市及び関市と連続して発生しています。

本病の感染ルートや発生原因は、現在調査中ではありますが、家畜の飼料、医薬品等資材の搬入などで、農場への人や車両の出入りが避けられない中で、未だ発生のない農場であっても、いつウイルスが侵入し、発生してもおかしくない、予断を許さない状況であります。

つきましては、今後も豚舎や車両等の消毒を徹底するなど、侵入防止対策に御注力いただきますとともに、豚の健康状態に一層注意いただき、万が一、異常を発見された場合は、いち早く家畜保健衛生所に通報いただくようお願いいたします。

県といたしましては、先日、「豚流行性下痢（PED）緊急対策会議」を開催し、県庁内の情報共有と対策を検討する体制を整えたところです。

今後とも、発生予防、まん延防止について、迅速に対応してまいりますので、本病の一日も早い終息に向け、一層の御理解と御協力をお願いします。